



園だより 12月号

港区立芝浦アイランドこども園

令和4年12月1日 発行

コロナの自粛生活も3年目になりましたが、少しずつ扉が開かれているように感じます。4・5歳児合同で千葉県の富田さとにわ耕園という農園に、バス遠足に行くことが出来ました。お芋の他にも人参やネギや落花生等、お花も四季折々のものを栽培していました。コスモスがまだ残っていてピンクの花びらを揺らしていました。芋畑に4歳児と5歳児が一行に並んでお芋を掘りました。大きなお芋がいくつも採れ大豊作でした。みんな初めてのお芋掘りなので、バスの中で焼き芋グーチャーパーを歌ったり、お芋の掘り方を習ったり、準備万端で臨みました。4歳児は一人で一株掘るのが精一杯でした。そこで5歳さんの登場です。自分たちの分をサッと掘り上げて「4歳さんを手伝って～」と声をかけると、「よし来た！」と4歳児の間に入って掘り始めました。お芋はどこだと、4歳の方にやって来た5歳さん、間違えて掘ってはいけない畑にまで手を出すところでした。「それは違う！」と言うと、慌てて手を引っ込めました。4歳も5歳も全身を使ってお芋掘りをした後は、お腹が空いたので、お弁当をペロリと食べてしまいました。

楽しい遠足でしたが、大人は90人の大移動にてんやわんやでした。この3年間にどうも遠足の感覚を失ってしまったみたいです。コロナによる規制が全て無くなってもすぐに前みたいに動けるわけではないことを痛感しました。

保護者の皆様には、今年も園の活動にご理解とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

ご家族皆様で、喜び多き新年を迎えられますようお祈りいたします。

園長 興津 夏子

